



井奥まさきの 市政報告NEWS

2001・10
No.13
秋号

このNEWSは、無所属・市民派の高砂市議会議員井奥まさきによる市政レポートです。

図書館がアブナイ！ 財政破綻のつけを 文化・福祉にまわさないで！

高砂市議員
井奥まさき

私のニュースをずっと読んでいた
だいていた方には、私が「財政危機」
について何度も警告を発していた
ことを覚えておられると思います。
そんな私や他の議員の指摘に対し
て「大丈夫、心配ない」と言って
きた行政が突然「財政が厳しくなっ
ているので、事業計画の見直しをし
たい」と言い出しました。

まずは経費の削減、さらに管理職
手当を削減して今年を乗り切り、来
年度以降の事業については優先順位
をつけて実施していくというので
す。わずか半年前の3月議会で「来
年度以降の重要な施策をきちんと
実施できるのか」「それらの事業を
最大限やっても大丈夫な財政計画を
組んでいる」というやりとりをした

ばかりです。急変した理由は「小泉
改革のため景気が悪化する見込み。
財源にも余裕がなくなってくる」と
いうのですからあきれます。こんな
理由にあげられては小泉さんも、た
まったものではないでしょう。

原因は明らかです。一昨年度以
来、国の過熱気味の経済対策にの
り、財政のタガがゆるんでいたから
です。「不便な場所にあるシルバー
人材センター」「携帯着信防止装
置」「わずか32名の荒井漁協への補
助」といった例が典型的です。

また国の施策で浮いた財源をきち
んと貯金（財政調整基金積み立て）
をせず、使ってしまったことも失敗
でした。

その影響で複合福祉センターが延

期となり、新図書館建設も見直し事
業に入っています。私たちが楽しみに
していた「文化・福祉施設」に暗
雲が立ちこめているのです。

一方でいまだに市長には「野球場
の電光掲示板」「高砂サミット」に
こだわりがあるようです。

いまこそ「何が必要」かの議論を
しなくてははいけません。図書館計画
存続に関しては、署名運動も起こっ
ています。ぜひみなさん、声を上げ
てください！

財政破綻をきたした高砂市 2001年度決算も赤字か

上記のように「高砂市緊急財政対策」という文書が出されました。平成12
(2000)年度に続き、今年度も早くも決算赤字の見込みが出ているよう
です。約4億の欠損を埋める緊急対策の他に今年中に「事業見直し」も出される予定
です。

2年保育は大激論の末、修正 平成15(2003)年度拡大へ

7月11日全員協議会が開かれました。行政側の粗末な原案にはびっくりし
ました。原案では「現状の3園を引き続き行い、平成15(2003)年度に阿弥
陀・北浜幼稚園での2年保育実施を行う。」というものでした。

しかし、昨年問題になった「米田、米田西幼」「伊保、伊保南幼」の問題
は「将来的な課題」という案でした。私をはじめ、多くの議員が厳しい指摘
をした結果、「平成15(2003)年度に伊保幼、米田西幼も2年保育」という
修正になりました。

総務常任委員会、ゴミ焼却建設特別委員会に所属しました

昨年に続き総務常任委員会に所属しました。人事や財政、企画、監査、消
防、選挙管理委員会...といった幅広い担当を持つ委員会です。

井奥まさきの財政公開

収入	
7～9月分報酬(月52万2000円)	156万6000円
支出(7月～9月)	
所得税	7万5960円
議員共済	17万1600円
国民年金	3万9900円
国民保険	12万0000円
市県民税	10万1700円
一二次会費	9000円
ともに市政を考える会活動費 (ニュース発行費、人件費、事務所費など)	29万7840円
借金返済、次回選挙費用積立	30万円
井奥まさき生活費・行動費 (15万×3ヶ月)	45万円

財政関係の話題 < 県議の報酬は... >
最近県議となった井上氏と比較してみましょ
う。ま、仕事の範囲が違いますけれど。
報酬
高砂市議 52万2000円
兵庫県議 93万円
政務調査費
高砂市議 年30万円
兵庫県議 年600万円

子ども施策を市政の一番重要な位置に

尼崎の児童虐待問題など子どもたちをめぐる事件が相次ぎます。
厳しい財政の中でも「子ども施策」を一番大事にすべきだと訴えまし



子どもへの虐待防止策は？

児童虐待の防止には 1) 早期発見 2) 未熟な親へのケア 3) 虐待防止のための人権意識向上 4) 子どもの権利の確認 が大事とされますが、市長はどう考えますか。

田村 市長 早期発見、早期対応、虐待を受けた子どもたちへの適切な対応を行うことが緊急の課題と認識している。

早期発見に向け、教職員の通報義務は

児童虐待防止法に明記されている「教職員の通報義務」はきちんと行われていますか。

橋本 教育長 早期発見ができる体制を整えるよう指導をしている。万一虐待を発見した場合は教育委員会と連絡を取るようになっている。

県の施設との連携は

明石のこどもセンター（児童相談所）との連携を密にしてください

田村 市長 相談件数が年々増加しているのは事実。高砂市でも昨年18件相談があり、そのうち3件は施設に入所している。これらの事例に対しては、関係機関と連絡をとりあって連携している。

子どもたちに良質の文化を 図書館建設は予定通り進むのか

文化を手渡すという意味で大切な図書館。財政が苦しい中、延期・中止がささやかれているが、どうするつもりですか。

田村 市長 財政状況を考えながら、どういう時期をとらえてやっていくかが課題になっている。大切な施設として認識しているので、建設に向けて努力をしていきたい。

国体のための野球場改装はムダ

市長と語る会で「財政状況をみすえ、順序をつけて」と言われていたが、まず野球場改装は必要がないのでは。

田村 市長 野球場改装は予定はしているが、それは国体のためだけに改装をして後は使わないという形ではなく、今後10年20年使っていく中で考えている。

その他にも、「CAP（子どもの虐待防止プログラム）導入を」「子どもの権利条約に基づいた条例制定を」「滞納対策は」「『市長と語る会』はやり方を工夫して」といった質問・提言をしました。

（氏名が記載されるようになった議会だよりもご覧ください。
最初の一括掲載の名前順に掲載されています）

総務委員会より 阿弥陀・魚橋土地売却問題などについて激論

総務委員会では本会議でも大激論となった「市長の報酬削減」「退職金支払い」といった点が審議されました。私は次の3つを深く追求しました。

一つ目は、公金横領・財政破綻の責任について、市長の認識がどうであるのか。

「2年間放置問題」など議会の厳しい指摘を受けてもなお市長の認識が甘い点を指摘しました。

二つ目は、阿弥陀・魚橋土地売却問題について。

「市長と語る会」の阿弥陀地区集会では住民から厳

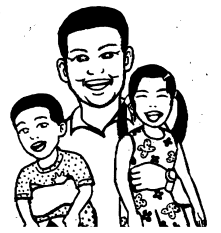
しい意見が相次ぎました。市民と十分な話し合いをせず、財政が厳しいからという理由で土地売却を図る市の姿勢が批判されています。「親の遺産を食いつぶす道楽息子なみ」という厳しい声まで出ました。小松議員と共に、「住民と十分話をするべきでは」と求めました。

三つ目は、退職金支払いの件です。

元館長への退職金支払いを6月議会では「市民感情から考えて支払わず」と市長自ら宣言しましたが、わずか2カ月で撤回。その経緯を追求しました。

市民派県議が加古川市で誕生

31歳の井上ひでゆき君と一緒に政治を変えてゆきます



20日間選挙に勝利！

NPOネットや山の牛乳共同購入の会で一緒に活動してきた井上ひでゆき君が県議となりました。

立候補を決意してからわずか20日間しかなく、金も、人手も、時間もない選挙でしたが見事に勝利することができました。

全国の市民派議員からも「画期的勝利だ」と喜びの声が寄せられています。私自身にとっても信頼できる連携相手が近隣にでき、大変うれしいです。

県議会にも「いきいきネットワーク」

当選後、さまざまな会派からもさそいがあったようですが、一人会派の「いきいきネットワーク」でいくことにしたようです。

高砂市議会に続き、県議会にも「いきいきネットワーク」会派ができたわけです。

それにあわせ、東播磨に新しい政治の流れを作るために市民団体の「いきいきネットワーク」を立ち上げました。当面は 1)県庁ツアーなど県政を身近に感じてもらうイベントの実施 2)NPOが活発になり政治が身近になるイベントの実施 をしていきます。

兵庫県議会議員補欠選挙

(7月20日告示 7月29日投票)

<加古川市選挙区>

井上ひでゆき(無)	40,284
ひだ 佳典(無) = 由・公推薦	34,859
広瀬ひろ子(共)	23,812

高砂・加古川から新しい政治を

「高砂・加古川から新しい政治を」「子どもたちのための政治を」というキャッチフレーズを掲げた宣伝カーも作りました。そのキャッチフレーズのとおり、来年7月の加古川市議選、9月の高砂市議選、そして再来年4月の兵庫県議会議員選挙 という3つの節目の選挙に挑戦し、新しい政治勢力を広げていくつもりです。

決議

米国における同時多発テロ事件に関する決議 全会一致で決議

衝撃的な映像でした。議会質問の準備中にふとテレビを見るとビルに飛行機がぶつかっている映像が目に入りました。「事故かな」と思っていると、その後民間旅客機を利用したテロ事件と判明。さらにペンタゴンへの攻撃、ビルの倒壊とまるで映画を見ているようでした。

高砂市でもテロ事件に関して決議を出そうということになり、私は「アメリカは冷静に対処すべき。報復は報復しか呼ばない」という趣旨の文案を提案。

最終的にはより洗練された「国際法に基づき」「武力だけでは解決しない」という文章が挿入されました。

この事件に関しては、インターネット上でさまざまな勢いで情報が飛び交っています。アメリカの犠牲者の親による「報復による犠牲拡大をしないで」とする声明などマスコミで報道されない貴重な情報もあります。犯罪を許さない、という断固たる姿勢と冷静な対処の両方が求められていると思います。姫路の国際交流グループと関連イベントを10月に実施する予定です。

注目していた陳情・請願・意見書

新入学児童等への支援事業を求める陳情書 私は継続反対・採択を求める

継続反対 5(井奥、松本、今竹、共2) 継続 22

結果 継続

定例議会というのは年4回しかありません。陳情書を「継続」にすると次に審議するのは約3カ月後です。やはり一つ一つの問題はきちんと議論をして結論を出すべきです。この陳情のようなわかりやすい議題でさえ「継続」にしているようでは「先送り」行政を批判できません。

9月議会の焦点

緊急財政対策を受け、新規事業のほとんどない小規模な予算でした。しかし、常に「公金横領事件」「財政破綻」という二つの大きなテーマがからみ、大変な議会となりました。

平成11(1999)年度決算 不認定

平成12(2000)年度決算 原案撤回

私は不認定

例 一般会計 全会一致不認定

下水道特別会計 認定4(新社会、池本) 不認定23

1年がかりで審議された平成11(1999)年度決算が報告されました。文化会館横領事件、下水道工事業者の選定ミスなど大変な事実が次々と明らかになりました。決算不認定は、前代未聞のこと。

また、平成12(2000)年度決算は、監査報告に関して明らかな事実誤認があり、複数の議員の指摘を受けて撤回となりました。臨時議会で再度提案される予定です。高砂市政始まって以来の出来事です。

どうも高砂市は大変な事態となっているようです。横の連携、上司への報告、他の資料との整合性といった当たり前の事がまっとなさされていない組織に見えます。

私と無所属議員二人、政和会、共産党はこうした事態に対し、「誰かが責任を取るべき」ということから「助役辞任」あるいは「収入役辞任」を求めていきましたが、どちらも辞任するつもりはないようです。誰も責任を取らず、ミスだけが続く現状が大変心配です。

市長以下特別職の3%歳費返上

管理職手当10%削減

私は反対 賛成18 反対9(政和会4、共産2、今竹、松本、井奥)

管理職手当10%削減というのは「一番手につけやすい、削りやすいところ」から始めたと思えません。また、1年目の調整手当カットの際には市長は10%歳費返上をしています。

トップが少し損をしてでも部下へ模範を示すのが組織のありかたではないでしょうか。そうした点も含め、あまりに安易で効果も薄い(わずか1000万の削減)管理職手当削減に反対し、市長の歳費返上は少なすぎるという考えから反対しました。

組織を小規模改正 市長公室を廃止

私は賛成 賛成19 反対8(政和会4、共産2、今竹、松本)

「政策機能」「広報公聴機能」の強化を理由に提案されました。当局の熱意が感じられたので賛成しました。

1, 2年後には大規模な組織改正が行われる予定だそうです。「市民の意見を十分聞き、使う側の市民に立った改正を」と注文を付けました。

井奥まさき日誌(抄)

7月
11日 全員協議会
17日 議会だより編集委員会
20日~28日 県議選応援(加古川市)
30日 虹と緑 関西ブロック会議(尼崎市)

8月
5日 政策勉強会(岡山市)
8日 虹と緑 編集会議(西宮市)
9日 図書館視察(滝野町)
11日 県政勉強会(加古川市)
11日 議会だより編集委員会
18日 井上事務所オープニングパーティー
21日 県議と市内視察(ゴミ焼却場、最終処分場)
7日、9日、10日、17日
22日、24日、28日、30日
市長と語る会 参加(全地区)
11日、29日
市政フォーラム 参加(米田・曽根)
23日 兵庫県議員ネットワーク(姫路市)
23日~26日 幼い難民を考える会写真展
(姫路市)
27日 おやこ劇場 観劇
27日~31日 幼い難民を考える会写真展
(高砂市)
28日 全員協議会
29日 伊保小学校本館竣工式
31日 北海道道庁視察



9月
1~2日 虹と緑 全国研究集会と総会
(札幌市)
3日 9月議会(~9月18日)
3、4日 役員改選
5日、6日 議案熟読
8日、9日 幼い難民を考える会 写真展
(加古川市)
7日、10日、11日 議案質疑
12日 一般質問
13日、14日 委員会審議
15日、16日 敬老会 出席
17日 討論採決、陳情・請願採決
18日 最終日(諸報告)
20日 県庁ツアー 参加
22日 地域外国人訪問・撮影
24日 荒井中学校・宝殿中学校 運動会
29日、30日 開発教育協議会イベント(姫路市)
30日 伊保小学校運動会・市内幼稚園運動会

議事を傍聴しませんか? どなたでも傍聴できます。手続きはカンタンです。入り口で名前を書けば、どなたでも傍聴できます。

日程は議会事務局43-9051までお問い合わせ下さい。次の議会は12月に開会予定です。

また、モニターテレビもカラーになりました。市庁舎内のテレビで見ることができます。

市政にこんなことを望みたい!

これはどうなっているの?

市政・市民相談受けつけます

TEL 0794-44-2343

FAX 44-2418

e-mail: ioku@mx.r.mesh.ne.jp

あなたの近くでも市政報告会を企画して下さい。何人でも結構です。市内どこでもかけつけます。